

教育目標: <b>心豊かな三小の子に</b> ○やさしい子 ○進んでとりむ子 ○考える子 ○元気な子 めざす学校像: 『子供たちが明日も行きたくなる学校』 めざす児童像: 『互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識をもつ児童』 ・社会に対して主体的に関わり合い、社会に貢献することのできる個性と創造性豊かな児童 めざす教師像: 『指導力に優れた教師』 ・児童、保護者、地域から信頼される教師 ・組織的な学校運営に進んで参画できる教師
--

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標	努力指標	成果指標	成果指標	今後の課題等	学校関係者評価記入欄
				(中間)	(最終)	(中間)	(最終)		
確かな学力の定着	・カリキュラムマネジメントの確立 ・授業改善の推進 ・ICT環境の有効活用 ・高学年教科担任制の導入	・教科横断的な学習の充実を図る。 ・週ごとの指導計画の充実による教員の授業力の向上を目指す。 ・児童一人1台貸与するタブレット端末等を活用した指導を取り入れ、指導の充実を図る。 ・専門性の高い授業を実施し、知的好奇心を高めるとともに、中学校への円滑な接続を図る。	・週ごとの指導計画には、ねらいと学習活動を明記するとともに、指導記録の作成による振り返りを積み上げ、指導と評価の一体化を推進する。 ・ICT機器を効果的に活用し、児童の学習意欲を向上させる。 ・授業コンテンツの開発を行い、個別最適な学び・協働的な学びを生かした授業を実施する。	4	/	4	/	○授業計画や評価を、見直しをもって進めていく必要がある。 ○教科担任制による成果や課題を、より多くの学校に発信していく必要がある。 ○ICT機器の積極的な活用とともに、情報リテラシーに関する教育の一層の工夫が必要である。	○高学年教科担任による学習は、児童の学習意欲の向上や学力の定着につながっている。 ○新たな試みと同時に、どの活動を縮小・削減していくのがよいかについても考えてほしい。
				2	/	4	/		
豊かな人間性の確立	・人権教育の一層の充実といじめの未然防止の徹底 ・道徳教育の推進 ・特別活動の充実	・すべての人を大切にするまじ宣言に関連する授業を実施する。 ・場に応じたあいさつや適切な言葉遣いの指導を徹底する。 ・児童の個性を尊重し、自己肯定感を高める支援を推進する。 ・考え方の違いを認め、自らの考えを深める指導を工夫する。 ・体験を通して、互いに理解し合い尊重し合える活動を実施する。	・教職員の人権感覚の向上を図るとともに、児童の人権意識を高め、いじめゼロを目指す。 ・発達段階に応じて、特別支援教室との連携を図った授業を行うとともに、学校だより等で学期に1回以上特別支援教室の活動を周知する。 ・各学級で月1回程度の学級会を実施し、コミュニケーション能力と合意形成を図る力を育成する。 ・年間を通してたわり班活動を行い、様々な人と楽しく触れ合い、協力し合う活動を工夫する。	4	/	3	/	○ICT機器の活用に関連して、SNSによる人権を侵害する発言や書き込みの防止等、情報モラルについて定期的に指導していく必要がある。 ○周囲の大人に相談できる環境を引き続き整えていく。 ○児童同士のコミュニケーションを一層工夫していく。	○様々な子供たちと共に過ごす中で、「友達どう接していけばいいか」について考えることをきっかけにして、障害理解教育につなげてほしい。 ○様々な活動を通して、多くの価値を認めていく教育が必要である。 ○いじめの未然防止に向けて、多様性を認め、受け入れる教育活動が必要である。
				2	/	4	/		
健やかな体の育成	・すすんで運動に取り組む意欲と体力の向上 ・食育や保健指導の充実	・児童の実態や発達段階に応じた指導の充実を図る。 ・健康について正しい理解と留意する意識を高める指導を実施する。 ・食への関心を高める。	・全学年に体育専科教員が関わり、指導内容の系統性を考慮した授業改善に取り組む。 ・体育的な活動を毎時間の授業に取り入れ、運動への意欲と体力の向上を図る。 ・毎学期1回の保健指導と毎月1回保健だよりを発行し啓発に取り組む。 ・家庭科の学習や栄養士による授業で学んだことを生かし、年間1回食会を行う。	4	/	4	/	○運動意欲や体力の向上のために、個々のめあてをもって主体的に取り組める場の設定や指導の工夫をしていく。 ○ICTの活用による健康への影響を今後考えていく必要がある。	○子供たちの達成感を味わえる工夫は、今後も継続してほしい。 ○養護教諭と連携して児童が「健康」について深く考える機会をつくると、より健康意識の向上につながるので、実施してほしい。
				3	/	4	/		
家庭・地域等との連携の推進	・地域、保護者との連携及び地域の特色を生かした教育活動 ・「見える学校」「話のできる学校」による開かれた学校づくり	・中学校区での連携を推進する。 ・地域人材の発掘、及び地域の教育資源を積極的に活用する。 ・学校だよりや学年だより、学級だより、ブログを通して積極的に情報を発信する。	・国分寺市や教科担任制等共通テーマを設定し、実践を交流する。 ・地域の自然や文化・伝統に触れる環境づくりをする。 ・保護者や地域ボランティアへ積極的に教育活動への参加を呼び掛ける。 ・各学年・専科からタイムリーかつ月に2〜3回程度ブログを発信する。学級だよりまたは学級ブログは毎月1回以上発行する。	3	/	4	/	○子供たちが自分たちの地域に愛着をもち、系統的に学んでいけるように実践を重ね、整理していく。 ○家庭での話題のきっかけになるブログとなるよう、引き続き発行していく。	○教育活動を通して、地域のことを知り、地域の人とつながっていくことを期待している。 ○ブログの件数は確実に増えていて、学校の様子が分かり、安心感もてる。特に夏休み中の増築工事の様子は、2学期からの見通しがもてた。
				2	/	3	/		